

# 「わとくのサンルームから」

兵庫県立和田山特別支援学校  
校長 野口 照正



## 1 運動会雑感

今年度の運動会では、画像にもある通り、素敵なスローガンのもと、大きなケガをした児童・生徒もなく、各部でたくさんの保護者の皆様にご観覧をいただきました。ありがとうございました。

以下に私目線の感想を記します。

### (1) 小学部

- ① 平均台の上を歩くことでバランスをとったり、大玉転がしでうまく前に転がすための判断力など、たくさんの要素が入った種目でした。
- ② 最後のダンスもしっかりと動けていて、楽しそうな児童の表情が印象的でした。
- ③ 本番は予演会よりもスムーズに演技が出来て、とても良かったです。
- ④ これからもいろいろな先生方と、からだの使い方を一緒に勉強してください。

### (2) 中学部

- ① 最初の演技では、お盆を持って走っている途中で、突然にUSAダンスに切り替えができることに、すごいと思いました。
- ② スプーンでボールを運ぶ玉入れも、前後左右のバランスをしっかりととって、かごの中に赤白の玉を入れることができていました。
- ③ 皆で踊ったハンドクラップは、動きが見た目以上に激しいダンスでしたが、最後まで集中して、しっかりと踊れていました！

(次頁もご覧ください)

### (3) 高等部

- ① ラジオ体操から玉入れまで、生徒の皆さんが複数の種目に挑戦しました。
- ② 60分以上の長い演技でしたが、昔ながらの種目から現代風の種目、それに昔ながらの種目に新たなアイデアが入っていたりと盛りだくさんだったので、時間の経過が、すごく短かく感じました。
- ③ 高等部の演技では、司会進行や競技の補助など、生徒自らが関わって頑張ってくれました。その頑張る姿が予演会では小学部や中学部の後輩たちに、本番では保護者の皆さんにかっこよく見えました。
- ④ これからも「わとく」のリーダーとして、この学校を盛り上げてください。



### (5) 総括

各部の先生方は、児童・生徒の特性などをよく考えて演技内容を立案され、さらに実際の演技では手作り感満載の心温まるものでした。そして、保護者の皆様にご観覧いただいたことで、いつも以上に児童・生徒の表情がとても明るいものとなりました。この行事を通じて、児童・生徒はまた一歩、成長できたものと、確信しています。

ようやく、コロナ禍がひと段落しました。本校ではこれからの学校行事でも、以前に取り組んでいた行事に新たな視点を加えながら、さらなるバージョン・アップを目指します。保護者の皆様には、先生方の創意工夫に満ちた奮闘ぶりを是非、ご覧いただきたいと思います。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。